

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 澤山 茂

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

ゼミでの課題発表、修士論文・博士論文発表、学会における発表などさまざまなプレゼンテーションの機会がある。論文のすべてを読んでもらえるのであれば、それなりに理解されるが、発表においては聞き手とのコミュニケーションの場が発生する。コミュニケーションの手段としてプレゼンテーション能力を十分に発揮できるためのスキルが要求される。このスキルは、学会での発表だけではなく、社会におけるプレゼンテーションを行うためにも必ず必要とされる。これらの学習をふまえて、各人の研究テーマに即した最終発表演習に結実させることを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

プレゼンテーション技法 情報整理 _____ ポスター発表 _____ 口述発表 _____
 表現方法 _____ パワーポイント _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	オリエンテーション	・プレゼンテーションとは	とくに準備するものはないが、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイントを使いこなすことができるようにするとともに、効果的なプレゼンテーションとはどのようなことか、コンテンツの作成にはどのようなツールがあるかを学び、実際に作業や演習を繰り返し行って、実践ができることを目的とする。
2	プレゼン技法の現状	・プレゼンテーション技法の過去から現在	
3	プレゼンの構成	・構成の組み方：設計と制作の基本	
4	プレゼン能力	・プレゼンテーションに求められる能力	
5	プレゼン企画	・プレゼンテーションの企画と設計	
6	情報整理	・手持ちの情報の把握と整理	
7	プレゼン構造	・プレゼンテーションの構造	
8	コンテンツ	・コンテンツの制作、レイアウトの基本	
9	作表技術	・作表の基本	
10	グラフ作成技術	・グラフ作成の基本	
11	プレゼンの効果技術	・プレゼンテーションの演出	
12	表現方法	・効果的なプレゼンテーション	
13	価値を認識	・プレゼンテーション資料の価値の向上	
14	評価されるプレゼン	・プレゼンテーションの実際	
15	総括	・個人によるプレゼンテーションの発表会	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業中に資料を配付する/ _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

良いプレゼン悪いプレゼン—わかりやすいプレゼンテーションのために/後藤文彦/ (株) カットシステム (2008)、学会ポスターのデザイン術/宮野公樹/化学同人 (2013)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

課題として自分のデータを用いたプレゼンテーションを発表することを義務とする。

◆その他受講上の注意事項

特になし